

防災対策を重点的に充実すべき地域についてのアンケート結果
(PAZに関する結果)

市町名	PAZの範囲	範囲設定の理由	PAZの設定についての意見
御前崎市	発電所から半径5km以内の範囲に全部又は一部が存する自治区等の区域をあわせたものを基本とし、半径5km以外の御前崎地区を追加する。	半径5kmの範囲で設定すると孤立してしまうため	自治会の一部が区域にかかる場合、現実的に避難となった場合には、5kmの線できっちり区分けすることはできないので対応をどうするかが問題
牧之原市	発電所から半径5km以内の範囲に全部又は一部が存する自治区等の区域をあわせたものを基本とし、5km範囲に一部区域が含まれる落居地区を入れる。	自治会組織の単位で防災活動を展開するため	区域の考え方については、安全側に配慮して、少しでもPAZ区域内に入れば、自治会単位で区域に入れる。

(UPZに関する結果)

市町名	UPZの範囲	範囲設定の理由	UPZの設定についての意見
御前崎市	市全域とする。	市全域が30km圏内のため	
牧之原市	市全域とする。	市全域が30km圏内のため	
掛川市	市全域とする。	距離を見ても5kmの範囲(山間部を含む)となり、また人口から見ても約250人のみがその範囲外となっているため	新たに設定変更となることにより、今までの4市からPAZの2市、UPZの7市2町になるが、EPZと比べてどのような対応の変化が起こりうるか詳しく説明していただきたい。また、UPZとなってもEPZから対応の悪化がないように旧4市同様の対応を願いたい。
菊川市	市全域とする。	市全域が対象になるため	避難先の確保はどうしていくのか？
吉田町	市全域とする。	市全域が30km圏内のため	当町の場合30km圏内に全域区域が入るため区分がないが、市町の行政区域内で範囲が分かれる場合は、各市町の意向を踏まえ弾力的に定めるべきであると考え。
袋井市	市全域とする。	30kmの範囲で線引きをすることは、放射能の拡散を考えると合理的でないため	
島田市	市全域とする。		昨年11月の原子力災害時の防護措置に係る人口状況調査で、20km圏内の調査があったが、20km圏に特化した防護措置を講ずる可能性はあるか。
磐田市	検討中	放射性物質の拡散範囲が季節、気象条件等により大幅に変わるため、区域の限定は難しいため	
焼津市	市全域とする。	市境の字まで、住家がほぼ連続して存しているため	
藤枝市	市全域とする。	福島第一原発事故や今回のSPEEDIIによる浜岡原発の拡散シミュレーションを見ても、30kmでラインは引けないため	
森町	森町は72の集落に別れており、町内の一部が30kmに入るため、集落(字)単位を区域とし、住居の相当数が含まれる地域を対象とする。		